

医療用 iPS 細胞ストックの構築に関する研究に

ご協力いただいたドナーの皆様へ

平素より医療用 iPS 細胞ストックの構築に関する研究にご協力いただき、誠にありがとうございます。皆様のご協力をもちまして、再生医療の実現等に向けた研究が着実に進展しております。

京都大学 iPS 細胞研究財団では、iPS 細胞を用いた治療法や創薬の開発など、多くの患者さんに役立つことが期待されていることから、以下の1.～3.の研究にご協力いただいた皆様にご提供いただいた試料から作製した iPS 細胞や診療情報などを利用して、次ページ以降に記載の研究を実施します。

1. 成分献血者を対象とした HLA ホモ接合体ドナー由来の医療用 iPS 細胞ストック構築に関する研究
2. 高頻度 HLA ホモ接合体さい帯血由来の医療用 iPS 細胞ストック構築に関する研究
3. 骨髄等提供者を対象とした HLA ホモ接合体ドナー由来の医療用 iPS 細胞ストック構築に関する研究

研究にご協力いただいた方で、試料・情報等を一覧に記載の研究へ利用することを希望されない場合は、期日までに、連絡窓口までお問い合わせください。

「複数施設で樹立された iPS 細胞株の特性比較解析によるサロゲート マーカーの探索」について

(1) この研究の目的と意義について

iPS 細胞を用いた再生医療の普及や、再生医療等製品の実用化の迅速化に向けては、品質の保証された iPS 細胞が安定的に提供されることが必要です。その重要な品質の一つとして、目的とする細胞への分化誘導されやすさ（分化能）が挙げられます。

本研究では、まだ分化していない iPS 細胞の段階で、高精度で分化能を知ることの出来るマーカーを発見することにより、治療に最適な iPS 細胞の早期選択を実現し、臨床応用へ向けてのスピードアップに大きく貢献することを目指します。

(2) 研究の方法について

英国で細胞治療の産学連携を促進する団体であるセルアンドジーンセラピー・カタパルトと共同で、お互いが樹立した iPS 細胞株を提供し、各々で培養した iPS 細胞の細胞特性データなどを比較します。異なる分化能を持つことが判っている iPS 細胞株についての（1 細胞 RNA シーケンスを含んだ）様々なデータを比較することにより、iPS 細胞の段階で目的とする細胞への分化能を示す、高精度のマーカー候補を発見することを目指します。

研究期間 : 2020 年 7 月 17 日～2022 年 3 月 31 日

研究機関 : 京都大学 iPS 細胞研究財団

研究責任者 : 細胞調製施設研究開発部・研究開発統括責任者・塚原正義

共同研究機関 : セルアンドジーンセラピー・カタパルト

共同研究機関の研究責任者 : プロジェクトマネジメントチーム・プロジェクトマネージャー・アナンホーストラガブ

研究で利用する試料・情報等の項目	<試料> 再生医療用 iPS 細胞 <情報> 細胞特性情報（増殖能、分化能等。なお、ゲノム情報などの個人情報提供はしない）
試料・情報の利用目的及び利用方法	iPS 細胞の培養データ及び細胞特性データの取得
試料・情報を利用する者の範囲	京都大学 iPS 細胞研究財団細胞調製施設 セルアンドジーンセラピー・カタパルト

他機関へ提供する試料や情報等	<試料> iPS 細胞 <情報> 細胞特性情報
他機関へ提供する方法	<試料> 試料の保存状態を維持するための専用容器に封入のうえ、追跡可能な輸送手段により提供先機関まで輸送。 <情報> 印刷物は追跡可能な輸送手段で提供先機関に送付、電子データは適切な情報セキュリティを確保の上で提供先機関に送信。
提供先における試料・情報の管理責任者	機関名：セルアンドジーンセラピー・カタパルト 研究責任者：アナンホーストラガブ

(3) 個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(4) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(5) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象者に該当する方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(6) 連絡窓口

ご不明の点等ございましたら担当コーディネーターまでご連絡ください。もしも、本研究への協力を辞退される場合は担当コーディネーターまでご連絡ください。